

【投稿】菅氏が居座るなら日本は危ない

会員・福井県立大学教授 島田洋一

菅直人氏は、浅はかな思いつきを連発する無原則なポピュリスト（大衆迎合屋）だが、「左傾した機会主義者」だという点に注意する必要がある。

菅氏が、保守派が拍手するような「思いつき」で物事をひっくり返した例はない。社民党党首の福島みずほ氏が熱烈な菅支持者であることから明らかなように、その「思いつき」には、左への迎合という一貫した特徴がある。

ソ連圏崩壊以来、多くの人々は左翼テーゼに簡単に騙されなくなった。そのため左翼は、「環境」を錦の御旗とするスイカ戦術（外はグリーンだが中は赤）を採ったが、経済発展を通じた生活向上を求める一般の心情を前に、不本意な妥協を余儀なくされてきた。知的な論議で物事が決まる限り、基本的に左翼が勝てない状態は続くだろう。

それを打ち破る禁じ手が、菅直人という存在だった。菅氏が首相の座に居続ける限り、ただの混乱ではなく、混乱を通じた、本来ありえないレベルの左傾的転落が進むことになる。成熟した（少なくとも成熟しつつあった）民主社会を、禁じ手で退化させる左翼の野望、その道化的担い手である菅氏を一刻も早く退場させねば、日本は本当に危ない。